保 証 書

品　名		デジタル身長・体重計	品　番	DST-210SB
保証期間		ご購入日より1ヶ年		
お客様	フリガナ お 名 前	様		
	ご 住 所	〒　　－		
	T E L	(　　)		
販売店	販売店名	印		
	ご 住 所	〒　　－		
	T E L	(　　)		
	販 売 日	年　　月　　日		

操作説明書

この説明書はすぐに使い始めるための操作説明書です。詳細な取扱説明書が必要な場合は、右記 QR コードもしくは下記サイトよりご確認ください。
https://muratec-kds.jp/products/dst-210sb/
本説明書は製品をご使用前に必ずお読みの上、十分に理解されてからお使いください。また、いつでも取り出せるよう大切に保管してください。

※ Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
ムラテック KDS 株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

ムラテックKDS株式会社

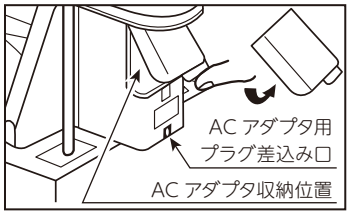
OPM210SB-20240712_V1.1IN

本　社　〒601-8326
京都市南区吉祥院南落合町 3
TEL:0120-25-5548
FAX:075-661-2764
https://muratec-kds.jp/

本社営業部	TEL:075-671-1550	FAX:075-661-2764
新潟営業所	TEL:0256-35-5481	FAX:0256-35-6317
東京営業所	TEL:03-5620-1051	FAX:03-5620-1053
名古屋営業所	TEL:052-852-7621	FAX:052-852-7624
兵庫営業所	TEL:0794-83-3411	FAX:0794-82-5915
福岡営業所	TEL:092-953-5781	FAX:092-953-5784

1. 梱包内容

- 身長体重計 本体
- 操作説明書 / 保証書（本書）
- 電池ケース
- AC アダプター
  ※右図の場所に収納されています。
- ホールドスイッチ
- スイッチホルダー

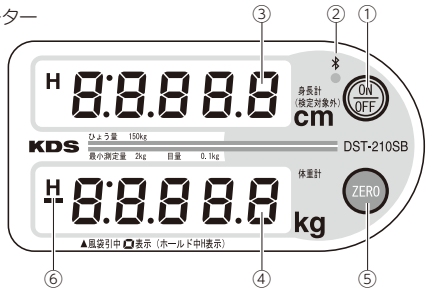


2. 表示部名称

①電源 ON/OFF キー
②Bluetooth 無線技術インジケーター

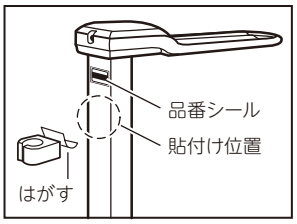
Bluetooth 無線技術については取扱説明書 31 ページ以降と併せてホームページもご確認ください。

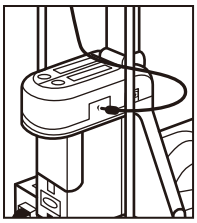
③身長表示部
④体重表示部
⑤ゼロセットキー
⑥ホールド表示



3. ホールドスイッチを取り付ける

スイッチホルダーを取り付け、ホールドスイッチ用プラグ差込み口にプラグを差込み、スイッチホルダーにセットします。





4. 測定の前に

- 機器を水平に設置する　…… 取扱説明書 15 ページ「3-2」参照
- 電源を確認する　…… 取扱説明書 16 ページ「4. 電源について」参照

5. 測定を開始する

1. AC アダプターまたは電池をセットする。
2. 台座には何も乗せない状態にする。
3. 支柱は完全に収納する。
4. 表示部側面にある測定モード切替スイッチが「身体計」側であることを確認する。
5. 電源 ON/OFF キーを押して電源 ON する。
6. 安定状態（表示部が図 1 の表示）であることを確認する。
7. カーソルを身長以上に引上げてから、台座の上に正しい姿勢で乗る。
8. 体重表示が安定 (ホールド表示 : 図 2) したらカーソルを下げ身長と体重を読み取る (図 3)。

図 1

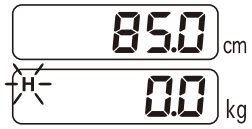


図 2

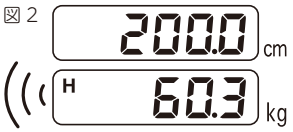
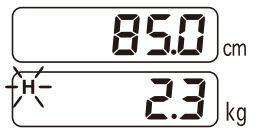


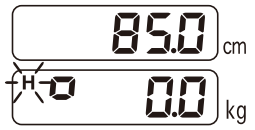
図 3

6. ゼロセット (風袋引き) 機能を使う場合

1. 台座に衣類や容器をのせます。

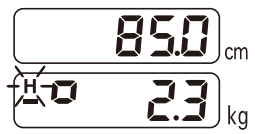


2. 表示の安定を確認し、ZERO キーを押す。
   ※ 0.5kg 以上の場合に有効です。



3. 衣類や容器を取り除きます。

4. 通常の身長・体重の測定を行うと、風袋引きの体重が表示されます。
   （風袋引き中 表示します。）

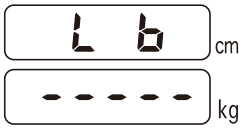


7. ホールド（表示値一時保持）機能

1. 身長・体重が安定している時、ホールドスイッチを押す。（ホールド状態）
   表示部の H（ホールド表示）が点灯して、ホールド状態を知らせます。
2. 再度ホールドスイッチを押すとホールド状態が解除され、現在の身長・体重の値を表示します。
   （ホールドスイッチを押すごとにブザーが 1 回なります。）

8. バッテリーアラーム機能

乾電池でご使用の場合、乾電池が消耗しますと、低電圧（LOW BATTERY）の意味として、身長表示部に Lb が表示されます。
※ Lb 表示が出れば、消耗した乾電池を取りはずし、4本同時に新しい乾電池 (単2) と交換してください。



9. その他の機能

- プリンターを使う ……取扱説明書 23 ページ以降参照
- コンピューターと接続する ……取扱説明書 25 ページ以降参照
- 外部表示ユニット (オプション) と接続する …取扱説明書 27 ページ参照
- 機能の設定変更方法 ……取扱説明書 28 ページ以降参照
- 定期検査時は「はかりモード」を使用する…取扱説明書 12 ページと 34 ページ参照

10. こんな時には……故障かな? と思う前に

電源 ON しても何も表示しない。	AC アダプターは正しく差し込まれていますか? 電池は正しく入っていますか? 電池で表示し AC アダプターで表示しない場合は、新しい専用 AC アダプターをご購入ください。
電源 ON しても身長計部に Err がでる。	支柱は完全に収納されていますか? スイッチホルダーがカーソルに接触していませんか?
ZERO キーを押しても、体重表示部がゼロにならない。	表示値安定状態になっていますか? 非安定状態では ZERO キーは、はたらきません。

取扱説明書 38 ページにもその他の事例を掲載しております。併せてご覧ください。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

⚠危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
⚠警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

⚠	△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。具体的な注意事項は △ の中や近くの文書や絵で記され、左図の場合は「感電注意」を示します。
⃠	⃠ 記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は ⃠ の中や近くの文書や絵で記され、左図の場合「分解禁止」を示します。
❗	❗ 記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容は ❗ の中や近くに文書や絵で記され、左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2) 個々に記載されている外観および仕様は予告なしに変更することがあります。カタログ・取扱説明書の内容と多少異なる場合もありますのでご了承ください。
3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4) 当社では、本機器の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、上記3）項にかかわらず如何なる責任も負いかねますのでご了承ください。

使用上（安全および危険防止）の注意事項

本機器を正しく安全にお使いいただくために、右記の注意事項を熟読された上でお取り扱いください。ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。

⚠危険

- 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本機器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

⚠注意

□下記の使用環境、保管環境でご使用ください。

- 水のかからない場所。
- 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。
- 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）のない
- 水平で安定した場所。
- 本機器および被験者の重さに耐えうる場所。
- 暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる場所には置かないでください。
- 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。
- 室温が使用温度範囲内（+5℃～ +35℃）の場所。
- 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。

□製品の設置・移動時は、下記にご注意ください。

- 本機器を移動する時は、支柱を完全に収納してから移動すること。
- 移動中に支柱のカーソルが落下してケガをする原因になります。
- 本機器を運搬用台車として使用しないこと。故障の原因になります。
- 屋外や平坦でない床面ではキャスターを使用して移動しないこと。故障の原因になります。
- 移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認すること。
- 移動中に本体を壁や物などにぶつけないこと。故障の原因になります。
- 乱暴に取り扱わないこと。故障の原因になります。
- 本機器を移動する時は、AC アダプターやケーブル類を本体より取り外してから移動すること。

- 本機器は重量物のため、設置、移動時に手や足をはさまないようにご注意ください。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠警告

- 専用ACアダプターに記載された電圧、周波数以外で使用しないでください。火災や感電、機器破損の原因になります。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠注意

- 機器が安全かつ正確に動作すること。
- すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。
- 支柱が完全に収納された状態で電源を入れること。
- 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。
- ACアダプターご使用の際は付属されている専用の AC アダプターを使用すること。
- 安全に正しく使用するために使用前点検を必ず行うこと。
- 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。
- 取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本機器に貼付された重力加速度の範囲と本紙の「地域別重力加速度一覧」からご確認ください。
- 「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板または本体の表示部をご確認ください。

- 本機器は人間の身長・体重を測定すること以外の目的で使用しないこと。
- 本機器の上に重いものを載せたり、本機器の下敷きにしないこと。火災・感電の原因になります。
- ACアダプターおよびACアダプターの差込口が破損している場合は使用しないこと。感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠注意

- 電池を交換する際は、全て新しい電池に交換し、新旧の電池を混在させないこと。故障の原因になります。
- 電池は＋・－の極性に注意し、正しく設置すること。
- 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。
- 濡れた手で電池を交換しないこと。感電の原因になります。
- 充電池（二次電池）は使用しないこと。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

⚠注意

- 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。
- 機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等適切な措置を講ずること。
- 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲の壁などとの接触を避けること。測定に影響します。
- 測定時は静かに計量台にのり、測定が終了するまで体を動かさないこと。
- 強磁界および強電界中では使用しないこと。

⚠注意

- 温度変化の激しい場所では使用しないこと。
- 測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動するような場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。
- ボールペンなど尖った物で表示部のスイッチ等を押さないこと。故障の原因になります。
- 支柱、補助バー、手すりに寄りかかったり、ぶら下がったりしないこと。転倒の恐れがあります。
- 計量台に飛びのったり、乱暴に取り扱わないこと。ケガや故障の原因になります。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意

- 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。
- 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。

- ケーブル類を取り外す時は、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。故障の原因になります。
- 長期間ご使用にならない場合は電池を抜いておくこと。

5. 機器が異常と思われた時は、次の処置をしてください。

⚠警告

- 測定者および被測定者の安全を確保すること。
- 機器の動作を止め、電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜くこと。
- 機器に「故障」「使用禁止」等の表示を行い、速やかに当社までご連絡ください。
- 体重計の校正はお客様では行なえません。当社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

6. 保守・点検については次の点に注意してください。

⚠警告

- お手入れの際は、感電防止のため、ACアダプターや乾電池を抜くこと。
- しばらく使用しなかった機器を再使用する時は、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。
- 安全に正しく使用するため、使用前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。使用前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
- 本機器を取り引や証明に使用する場合、2 年に 1 回定期検査（検定）を受けることが義務づけられています。定期検査は都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県にお問い合わせください。

6. 保守・点検については次の点に注意してください。

⚠警告

- 定期検査中では測定モード切替スイッチを「はかりモード」に設定してください。

- 本機器の分解、および改造は絶対にしないでください。ケガ、火災、感電の原因になります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

⚠注意

■本機器は、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。

一般的な原因と対策の一例をあげます。

【事例 -1】携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用
電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。

- 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。
- 本機器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。

【事例 -2】電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合

- 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。
- 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。
- 他の電源コンセントから電源を取る。乾電池を使用する。

【事例 -3】静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）

- 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。部屋を加湿する。

【事例 -4】落雷等による影響
近くで雷が発生した時は、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。

- 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用する。

修理規定

1. 本機器が取扱説明書等に従う正常な使用状態において故障した場合は、お買い上げの日より 1 ヶ年無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受けられる場合は製品と本書をお買い上げの販売店または最寄りの当社営業所まで送付ください。
3. 保証期間内でも下記の場合は有償になります。
   a) 本保証書のご提示がない場合
   b) 本保証書に必要事項の記入がない場合や字句が書き換えられている場合
   c) 誤用、乱用による故障や取扱い不注意による故障
   d) 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異による故障
   e) ご購入後の移動、輸送、落下、衝撃などにおける故障及び損傷
4. 保証書の再発行はいたしません。

本書は日本国内のみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

8. 環境保護

⚠警告

- 本機器を廃棄する時は、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。

安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。

⚠警告

- 表示器やケーブルでつまずかないよう、設置場所に注意してください。
- 本機器には角や段差があります。転倒したり、ぶつけてケガをしないよう注意してください。

- 支柱、表示器、補助バーの上に登ったり、ぶら下がったりしないこと。ケガや転倒の恐れがあります。
- 計量台の端に乗らないこと。転倒の恐れがあります。計量台の中央部にのってください。計量台に飛びのったり、端にのらないでください。ケガや転倒の恐れがあります。
- 支柱や補助バーに寄りかかからないでください。転倒する恐れがあります。

- 移動時に、計量台やキャスターに足をはさまないように注意してください。

お知らせ

- 計量部には足型に合わせて正しい姿勢でおのりください。
- 体動（揺らぎ）の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。
- 通常の測定は「身体計モード」でご使用ください。本機器の定期検査を受ける場合にのみ「はかりモード」に切り替えてください。
- 測定中に動いたりした場合、正しく測定できません。

機器全体のご注意

本機器を安全に正しくご使用いただくため、本書をよく読み、大切に保管してください。注意事項は下記以外にも本書内に記載されています。

- 本機器は絶対に分解や改造をしないでください。分解・改造された製品について、当社はいかなる責任も負いかねます。
- 本機器は幼児の手の届かない場所に保管してください。ケガの原因になることがあります。
- 本機器はお住まいの自治体の規則に従い、正しく廃棄してください。
- 本機器は日本国内専用です。国外ではご使用頂けません。

身長体重計使用上の注意事項

設置上のご注意

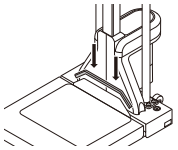
- 本体を移動する際は補助バーを持ち、傾けて移動してください。
- 支柱部を持って持ち上げる等の行為は避けてください。振動や風の影響を受けない、平らな場所に設置してください。
- 落下や転倒など、本体に大きな衝撃または振動を与えないでください。
- 湿気やほこりの多い場所でのご使用を控えてください。
- 直射日光の当たる場所に本体を設置しないでください。
- 外来電源ノイズや強力な電波・磁気などが発生する場所に、設置しないでください。
- 水平器を見ながら底部にある高さ調整ネジ（6 ヶ所）を回し、本体が水平になるように調整してください。
- 長時間ご使用にならない場合は電池を抜いてください。濡れた手で電池を交換しないでください。
- 電池交換は、全て新しい電池に交換し、新・旧の電池を一緒に使用しないでください。
- 電池は＋・－の極性に注意し、正しく取り扱ってください。

使用上のご注意

体重計の校正はお客様では行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 本機器は検定付計量器です。取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本体に貼り付けられている重力加速度の範囲からご確認ください。
- 取引または証明に使用する「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板および表示部に記載されています。
- 本機器は使用温度範囲内でご使用ください。本機器を取引または証明に使用する場合、2 年ごとに定期検査を受ける必要があります。定期検査には測定モード切替スイッチを「はかりモード」に設定し、ご使用ください。
- 計量台に飛びのるなど、乱暴に取り扱わないでください。ケガや故障の原因になります。

足当てカバーの取付方法

本体から足当てカバーが外れてしまった場合は足当ての上にカバーを設置し、上から指で押さえて取り付けてください。



Bluetooth 無線技術に関する注意

使用上のご注意

- 2.4GHz 周波数帯の電波を利用しているため、周辺の環境や使用されている機器（無線 LAN、テレビ、ラジオ、電子レンジ等）によって通信状況が悪くなる場合があります。
- 電波使用を禁止された区域での使用は避けてください。周囲の機器にノイズ等の影響を与える場合があります。ラジオやテレビにノイズが発生した場合は、周辺での使用は避けてください。
- ペースメーカー等の医療機器や、誤動作により人体や設備に損害を招く危険性がある機器の近くでは使用しないでください。誤動作の原因となる恐れがあります。
- 本機器は電波法に基づく認証を受けていますので、本機器を使用する際に無線局の免許は必要ありません。ただし本機器を分解改造したり、証明シールは剥がさないでください。
- 本機器は日本国内専用です。国外では使用できません。